

73-NO. 3

# 会報

第三号



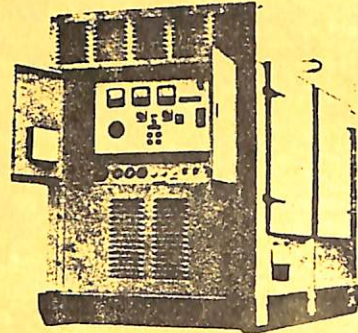
全国建設機械リース業連合会



「野外作業は、デンヨーの防音型・SSシリーズで」

防音型がぜひとも必要な現場がふえています。

防音型エンジン発電機

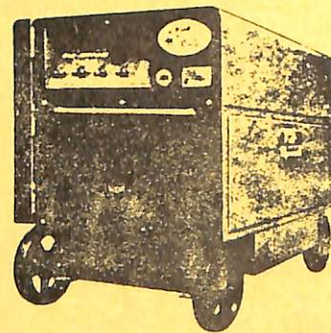


デンヨーパワーSS

型式DCA-55SS

- 出力……………45/55kVA
- 電圧……………200/220V
- 周波数……………50/60Hz
- エンジン……………いすゞDA-120
- 燃料……………軽油

防音型エンジン溶接機



プロフィットSS

型式DBD-230YSS

- 電流範囲……………40~230A
- 適用溶接棒……………2~5ミリ
- エンジン……………富士重IEY-21AS
- 燃料……………ガソリン

NEW **デンヨー株式会社**

本社 東京都中野区上高田4-2-2 〒164 TEL 03(389)3111代表  
 札幌/仙台/新潟/東京/静岡/名古屋/金沢/  
 京都/大阪/広島/高松/福岡

ツーリストの海外旅行なら安心です

- 全世界にひろがるサービスネットで、完璧なお世話ができます。  
 全国180営業所、海外9支店、海外提携旅行代理店185社が一つの生きた組織となって、充実した旅行を完璧にアレンジします。
- ずばぬけた送客実績を誇っております。  
 観光旅行はもとより、業界訪問、研修旅行においても、ツーリストは、圧倒的な実績をあげております。
- コンピューターによる品質管理を行っております。  
 ツーリストでは業界に先がけてコンピューターシステムを実用化、海外手配、旅行企画にコンピューターを利用し徹底した品質管理を行っております。
- ベテラン添乗員が楽しい海外旅行を演出します。  
 ツーリストはユニークな「ツアーディレクター」制度を開発。どんな国、どんな都市でもスミからスミまで、知りつくしている添乗専門社員がそろっています。
- 旅行中だけでなく、出発前の準備も万全です。  
 文部省選定「あなた自身のヨーロッパ」をはじめ、ツーリストが企画制作した世界の観光映画、スライドや「海外旅行者手帖」、「ガイドブック」を説明会のために用意してございます。

 **近畿日本ツーリスト株式会社**

秋葉原営業所

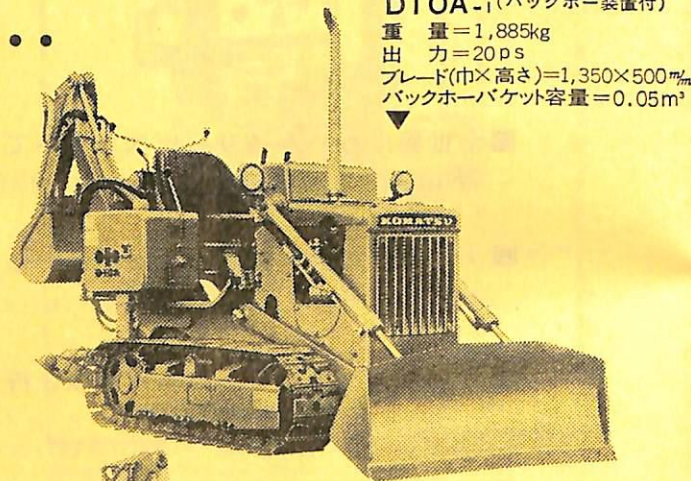
〒101 東京都千代田区神田松永町192

TEL(03)255 7111(大代表)  
 7077(直通)



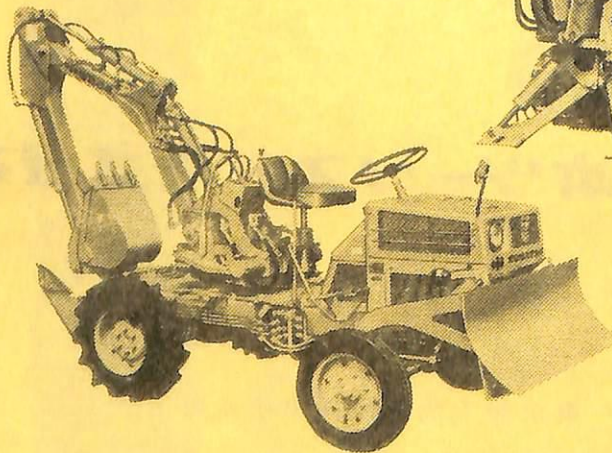
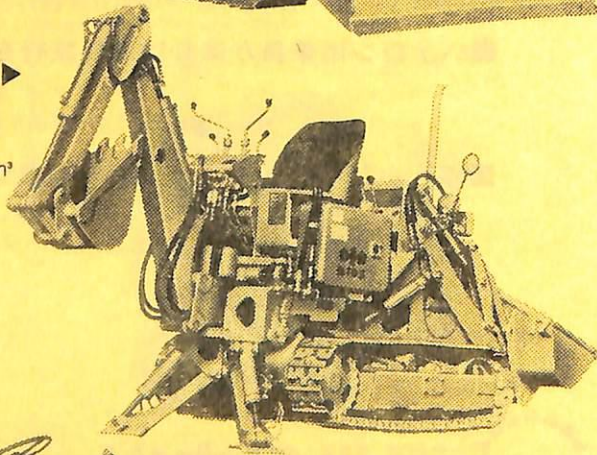
# 省力化、能率化の担い手 コマツ小型トリオを リースで……

コマツの超小型シリーズ——  
D10A-1、D10S-1、WB04は  
小規模工事の作業にうってつけ。  
大型機なみのパワーと性能は、  
現場で働く方からも高い評価を  
受けています。  
わずかな経費で大きく活かす  
リースで、コマツ超小型シリー  
ズをおすすめください。



**D10A-1**(バックホー装置付)  
重量=1,885kg  
出力=20ps  
ブレード(巾×高さ)=1,350×500mm  
バックホーバケット容量=0.05m<sup>3</sup>

**D10S-1**(バックホー装置付)▶  
重量=2,000kg  
出力=20ps  
バケット容量=0.25m<sup>3</sup>  
バックホーバケット容量=0.05m<sup>3</sup>



◀**WB04**(小型バックホー)  
重量=1,160kg  
出力=10ps  
バックホーバケット容量=0.04m<sup>3</sup>

**小松製作所**

本社/東京都港区赤坂2-3-6 ☎03(584)7111(大代表)

北海道支社 ☎札幌011(661)8111 近畿支社 ☎西山075(922)2101  
東北支社 ☎仙台022(56)7111 大阪支社 ☎大阪06(864)2121  
北陸支社 ☎新潟0252(66)9511 四国支社 ☎高松0878(41)1181  
関東支社 ☎埼玉0485(91)3111 中国支社 ☎五日市0829(22)3111  
東京支社 ☎東京03(584)7111 九州北支社 ☎福岡092(64)3111  
東海支社 ☎横浜045(311)1531 九州南支社 ☎熊本0963(44)7111  
中部支社 ☎一宮0586(77)1131

## 目次

1, 第4回定時総会式次第	1
2, 昭和47年度事業報告書	2
3, 昭和48年度事業計画案	4
4, 昭和48年度予算案	5
5, 第4回定時総会議事録	6
6, アメリカ旅行実行委員長記	9
7, アメリカ・レンタル・アソシエーションと日本の協会について	10
8, アメリカレンタル業視察報告	11
9, ARA(アメリカレンタル協会)の紹介	20
10, アメリカ視察旅行記	21
11, 宮城県建設機械リース業協会発足にあたり	22
12, 宮城県建設機械リース業協会設立総会を祝いて	24
13, 昭和47年度第3回理事会記録	26
14, 昭和47年度第4回理事会記録	30
15, 昭和48年度第1回理事会記録	31
16, 各委員会の活動状況	35
17, 広報委員会の開催とその結果	37
18, 第2回合同委員会開催結果について	37
19, 建設機械リース業とその協会について	40



## 第4回定時総会式次第

全国建設機械リース業連合会

日時 昭和48年5月11日午後3時

場所 東京都港区赤坂葵町2番地 共済会館

### 1. 総会成立報告

#### 1. 開会のことば

#### 1. 会長あいさつ

#### 1. 議長選出

#### 1. 議事録署名人選任

#### 1. 総会議案

第1号議案 昭和47年度事業報告書承認の件

第2号議案 昭和47年度決算書承認の件  
会計監査報告

第3号議案 理事増員に関する件

第4号議案 昭和48年度事業計画案

第5号議案 昭和48年度予算案

#### 1. 閉会のことば



## 昭和47年度事業報告書

昭和47年度における事業活動は次の通りである。

### 1. 第3回定時総会の開催

昭和47年5月13日, 東京都日比谷, 日生会館において(会報第2号, 4~5頁参照)

### 2. 理事会の開催

第1回, 第2回理事会(会報第2号6~12頁参照)

#### 第3回

日時 昭和48年2月5日

場所 神奈川県足柄下郡箱根町湯本, 吉池旅館

#### 議案

- (1) 法人化を強力に推進して行くため, 組織の拡充と財務の確立について
- (2) 静岡県建設機械リース業協会の加盟承認の件
- (3) 未組織地区の協会促進について
- (4) 全国標準建設機械賃貸料金の再検討について(実情料金を含む)
- (5) 低賃貸料金での貸し出し業者に対する対策に関する件
- (6) 全建機連並びに各地区協会々員の資格をユーザーに対し, 高揚させるべく努力する。
- (7) 協会組織強化の具体策に関する件
- (8) リース信用保険制度について
- (9) 全建機連の呼称は他に同じものがある改正の要はないか。

#### 報告事項

- (1) 法人化の推進状況について
- (2) アメリカ, レンタル業界視察見学旅行について
- (3) 全建機連入会申込承認様式について
- (4) 渉外委員長及び理事補充について

以上の緊急動議は議案として審議された。



その他の諸会議及び事業活動推進状況

1. 企画委員会の開催

昭和47年7月11日 於連合会事務所

出席者 山内会長, 和田, 水品両理事

岩田参与, 香取事務局長

決定事項 企画委員会, 渉外委員会, 調査委員会, 広報委員会

の4部の設立と委員の選任並びに業務分担事項について審議した。

(会報第2号, 29~30頁参照)

2. 法人化対策の一環として建設省の担当官訪問

昭和47年度 6月17日, 8月24日, 10月12日

11月9日, 12月18日

昭和48年度 1月12日, 3月22日

の7回に亘って訪問, 関係課担当官に協会の実情を陳情し, 法人化問題の促進に努めて参りました。やゝ明るい情勢に進展しつつある様に見受けられた。

3. 組織の拡大について

昭和47年度は当連合会も飛躍した年であった。

4月に神奈川県建設機械リース業協会, 6月に東中国建設機械リース業協会, 9月に兵庫県西部地区重機建設業者組合, 11月に静岡県建設機械リース業協会, 本年3月四国建設機械リース業協会, すでに発足していた九州建設機械リース業協会も近く加入の見込みである。

昭和48年度事業計画案

1. 連合会の運営に関する会議及び会合の開催

総会, 理事会, 委員会を開催して連合会の運営を推進する。

2. 会員の増強と連合会の法人化の促進

連合会の活動を強化するため会員の増強と法人化を推進する。

3. 適正なる賃貸料金の制定

建設機械類は機種が多様で新型機の開発も多い上諸物価も年々値上りしている折  
適正賃貸料金を制定し業界の向上を図る。

4. 正常取引の確保と部会制の設置

機種別の部会を設け同一機種取扱業者相互の交流を深め賃貸料金の調整を図る。

5. 連合会のユーザーに対するP.Rとサービスの推進

ユーザーに対し機会あるごとに会員のP.Rと機械の整備とサービスの強化を推進する。

6. 労務確保に関する研究

労働力不足の解決, 省力化等の研究を行う。

7. 災害, 公害防止に関する事業の推進

労災防止のための安全運動, 漏電しゃ断器, 等の講習会の開催及び公害防止に関する  
研究指導を行う。

8. 全国友好団体との交流

全国友好団体との交流と親密化を促進して業界発展に寄与する。

9. アメリカ・レンタル業者視察について

7月2日から10日間アメリカ, レンタル業者を視察, 連合会に新風を注入し強力な  
団体に発展するよう, 細部に渡り研修をして来る。

10. その他連合会の発展並びに会員及び公共のためになる事業を行う。



昭和48年度予算案

収入の部			支出の部		
費目	予算	摘要	費目	予算	摘要
前年度繰越金	293,523		事業費	1,770,000	
会員賦課金	2,550,000	6,000×400社 3,000×50社	総会費	200,000	定時総会分
賛助費	1,600,000	会報3・4号 600,000 会員名簿 1,000,000	理事会費	600,000	1回150,000×4回
手数料	100,000	料金表 40,000 ワッペン ステッカー 40,000 その他 20,000	委員会費	320,000	1回40,000×8回
雑収入	50,000	預金利息その他	交通費 (含旅費)	350,000	賛助広告折衝旅費 とも
出版物販売費	500,000	名簿1冊 500×1,000	調査研究費	100,000	
			広報費	200,000	
			事務費	1,950,000	
			事務用品費	50,000	
			通信費	300,000	封筒, 印刷他
			人件費	1,080,000	諸手当
			編集手当	200,000	事務局長 36万 職員女1人増 会報, 名簿
			交際費	200,000	
			借室料	120,000	
			出版費	800,000	
			会報費	300,000	第3・4号印刷代
			名簿費	500,000	会員名簿印刷代
			予備費	423,523	
			雑費	150,000	
合計	5,093,523		合計	5,093,523	

第4回定時総会議事録

1. 開会のことば 中村副会長

全国の協会の同志の皆様今日は全国の友好団体の理事、監事代議員の皆さん、今日遠いところまたおいそがしいところ多数の方のご出席を戴き有難うございます。本日ここに全国建設機械リース業連合会の第4回定時総会を開催出来ますことは、日頃皆様役員の方のご協力により総会が出来ますことは喜びに堪えません。最後まで本総会が円滑に審議されますよう、皆様のご協力を得ますことをお願いしまして開会の言葉といたします。

2. 会長あいさつ

第4回定時総会開催に当りまして、北海道から中国、四国まで多数の理事、監事、代議員の方々のご出席を賜りましたこと誠に有難うございました。一言ご挨拶申し上げます。この連合会が開催されてから4年間に経済の高度な成長、それから現在では過密状態におちいったと、地域企業政策から抑制緊縮の方向に年間政策が進行して参りまして、私ども業界の真向からその反動を受けるようになりました。47年、48年の端境期に入りまして本年の見通しも当分追徴になると覚悟しなければならないと思えます。昨年以來極度のエミテーションに見舞われて、物価、現在糧、人件費等に共々減騰を続けております。生産の低下或は納入の遅延により私共経営の基盤に多大のショックを受けさらにきびしい条件下に立たされて参りました。そこで問題になるのが適正賃貸料金の再検討と正常取引の遵守されると道徳的と申しますか信義的な取引が終止するための再認識を、大阪、東京でもすでに専門部会が出来軌道に乗りつつある。そして活発な活動を期待しています。

地域によりましては協会じたいが直接専門部会を運営されるところもあると思えます。その様な協会は特別専門部会を作らなくとも協会じたいが、適正料金或いは正常取引するようお願いいたします。申すまでもなく私どもリース、レンタル業界は機関産業であるところの各種協力により、省力化、技術の高度化を目的とし実力実績をユーザー側も認められまたメーカー側も期待をもたれ、又関係官庁は、深い理解のもと業界のは握と指導、産業区分の確立、それにご存知の耐用年限の短縮など、又法人化推進の問題についても配慮を賜り、成果は少数ながら精鋭の我がリース業連合会の熱意と努力



を深く感謝いたしております。経済的圧迫、社会福祉あらゆる犠牲等厳しい規制下において団体活動の強化以外にありません。それは過去数年の経過が物語っております。すでにご承知のとおりであります。

他協会について、一寸調べてみましたところ

全国で、床屋6万、不動産5万、リース1,200、特定業者2,500-3,000社

以上の構成数であります。政治力等大いなる努力が必要かとも思われます。

しかし、そう心配はいらないかとも思われます。

会員そのものの政治力が必要。会員数、会費等をよくとわれます。

団結が必要かと思われます。7月2日から10日間アメリカ、レンタル業者視察することになっております。初め、30名~40名参加すればと考えておりましたが、現在70数名参加を見ております。各地区とも5月24日に渡航の説明会がある予定。文明国のレンタル業界を十分視察して来たい。

参加される方は記録と写真を取り後日発表して頂きたい。

連合会も、400社になんなんとし、賛助会員を含めれば600社にならんとしております。九州が都合で遅れて参加されるようであります。

宮城が6月2日創立総会をされることになって、全国全地域に亘ることになった。地元東京は熱心な方がおり、専門部会が賃貸料金の検討をされている地区協会が全国の名前を使用されP.Rをして載き協会の経済の安全を確保されるようにして載きたい。終りに全国リース業連合会の益々発展されますことと地区協会の発展を期待して挨拶といたしたい。

3. 議長選出 山内会長選任

4. 総会成立報告 岩田参与 45名全員出席しましたので成立を報告します。

5. 議事録署名人選任

静岡県建設機械リース業協会 高島 博行  
兵庫県西部地区重機建設業者組合 石田 元治 両氏を選任

6. 総会議案

(1) 第1号議案 昭和47年度事業報告書承認の件 志茂坂副会長

1頁から3頁までありますが読み上げておきますと時間がかかりますので、詳略させていただきますが宜しくご検討願います。

異議なく承認

(2) 第2号議案 昭和47年度決算書承認の件 香取事務局長

決算書につきましては、お手元の議案書の4頁から6頁にご座いますとおりになっております。特に財産目録の一部訂正を願います。未収金のうちの会報2号広告掲載代金25,980円は納入が3月末にありましたので削除しました。以上でありますがよろしくご検討下さい。

会計監査報告 藤井 孝治監事

昭和47年度(昭和47年4月1日から昭和48年3月31日まで)の決算書類並びに関係諸帳簿を厳重に照合監査いたしましたところ正確であることを認めます。

異議なく承認。

(3) 第3号議案 理事増員に関する件 香取事務局長

本件は、四国、九州が参加されますので、各副会長1、理事2宛補充の必要があるものと思われるところから提案した次第でありますので、よろしくご検討を願います。

異議なく承認。

第4号議案に入る前に、会費のことで申し上げます。 山内議長

前回までは、月額300円を月額1社500円とすることが前回の理事会にて審議決定を見ておりますその案でよろしくご座いましょうか。

異議なく承認。

(4) 第4号議案 昭和48年度事業計画案 二宮理事

本年度の事業計画案につきましては、8頁に1~10項目まで事業計画案がのっておりますが、ご説明は詳略いたしますので、けづるもの加えるもの等ありましたらよろしくご検討下さい。

異議なく承認。

(5) 第5号議案 昭和48年度予算案 岩田参与

9頁の予算案につき、各収支項目につき朗読説明をなした結果

異議なく承認。

皆さんの御協力によりまして議案審議が異状なく審議されましたありがとうございます。

これをもちまして終了したいと存じます。有難うご座いました。



## アメリカ旅行実行委員長 記



東日本コンベア㈱ 高野 勇

実行委員長の任務は絶対に事故無く、旅行目的のアメリカレンタル業の視察を研修して羽田まで約80名の方々をお連れする大任です。

団長より引受けた時はこれは大変な仕事だなと些かとまどったが、団長、副団長、各地区実行委員と旅行社の添乗員2名及記録同行員の野田氏がそれぞれタテヨコに位置され、且、参加の皆さんは日本屈指のリース業の経営者許りであるので、自分の非力のもとよりであるから良くその個々に内在する神性仏性を礼拝し、尊敬し、縦横の組織を動かすことによって、大任を果すことにしました。と云っても自分一人では心もとないので家内をアシスタントの積りで協力させることにしたのです。

もう参加の皆さんは既に外国旅行の経験者もあり団体行動については小学校以来訓練を重ねられ、この10数年はバカンスレジャーの旅行の経験豊富な為、さしたる事故はなく夫々貴重な研修旅行を終えられたことを確信しまして、微力乍ら「良かった、良かった」と胸を撫でおろしたのであります。

◎この旅行は、10日間1つの目的を果すべく80名が各地を訪問旅行し記録し認識し批判し撰取して現地同業者と意見交換質疑応答を行いアメリカの現状認識と、今后自分達が責任を持って繁栄に導かねばならない自分の企業を伸す為の知識の吸収を10日の間に行うのですから心の配り、神経の緊張度も大変なものでありましたが、現地アメリカレン

タル業者の温い行届いた配慮は言葉の不便さを乗り越えて皆さんの胸に色々と有効なものが刻まれたことでしょう。

◎日本人は何処の都市に行っても歩行して見ますし「日本語で買物が出来ます」等と張紙するお店もある位です。今更日本国の力〔即ち日本人のバイタリティ（底力）〕の偉大さ、日本民族の優秀さに我ながら敬意を表しそして自負を感じた次第です。

◎私が最も感激したのは到着第1日の夜サンフランシスコの会食の時でした。

私の前で食事をされている同行の方が「国歌君が代を歌いましょう」と提案されましたので「我が意を得たり」と思い会食のシメク、りに皆さんに申上げた処、喜々として皆日本の故国の方に正面し大声で〔日本国の発展と留守を守るご家族や社員のご健勝を心の底から祈り乍ら「君が代」を斉唱したことです。中には感動の余り涙を流し眼をしばばたいている人もありました。私達は矢張り日本人だなあ国を想い国を愛し家族の安泰を願う気持ちこそ本当の経営者なんだと感じました。旅行中も日本人たるの自負と気概が続けて持たれ、これこそ海外に出て始めて体得し体感し得る祖国愛、郷土愛で君が代の旋りつの中に日本人の血が躍動するのを覚えました。

帰国に際し最後の夜、解団式をハワイのホテルのロビーにて行いましたが、この時にも「君が代」を斉唱し（われは日本人なり）と強く心に刻み、帰国後の決意は既にその内に表明されているかの様でした。

### ◎アメリカレンタル業観

開拓者魂のアメリカ人はリースレンタルでも1日の長があり建設機械の出発発展はアメリカからであったのですからリースも早かったことでしょう。それにアメリカ人らしい合理性からいっても必要な時、一寸借りることの出来るレンタル業も社会の必要からだったのでしょうが、彼らはレンタカー（トラック、トレーラーで乗用車はない）を兼営しているのも特色だと思いました。建設機械も新機種は無く（国内工事の需要程度と思う）、かえって芝刈機とか各種工具家庭内日曜大工用の機械が動いていました。西海岸の現状からと、思います。大きな工事、特殊な工事は無い地下鉄工事の一部を見てもチャチなと思う程の施工振り、アメリカ弗が下がっているのが判りベトナム戦の出費がこんな処まで波及しているのかとお気の毒にもなりましたが、日本はアメリカの傘の下でヌクヌクと高度成長してきて現在を迎えている訳ですから、これは感謝せねばならないことです。それにしても日本国内では一部の革新連中が、「アメリカ帰れ」等とわめいているのは本心からでしょうか。日本を味方にしてアメリカを追出したいどこかの国の差金に踊らされている輩は一体何を考えているのでしょうか？ それは兎も角アメリカの国力の回復を願って止みません。

## アメリカ・レンタル・アソシエーション と日本の協会について

副会長 宮野正三

予めの御指示もなく僅か一週間位の見学でアメリカを語るなど浅学非才の私にとってインクの切れた万年筆で字をかけと云われる位つ

それかあらぬか2ヶ月程後にアメリカレンタル協会前会長ビル・クッシング社長が夫妻同伴で視察に来られて日本人のバイタリティーに接してゆかれました。両国の為に御同慶の至りと存じます。

◎結語 日本建設業界はブームが過熱して近頃ではインフレーションの原因の一つがビルラッシュと云い大蔵省日本銀行は強力な金融引締めを数次実行しています。

ビル建設には資金の貸付停止になり5千平方メートル以上のビル建設は一時中止になりました。公共事業投資で本年度予算の内一兆円が繰延べになりました。今年末から来春にかけて、建設業界の状況は大きく変わるでしょうから、我々は安かんとはいられません。

将来の繁栄へ迎える道は険しいようですが、活路が1つあります。アメリカで聞いた話ですが「質の良い社員を訓練して技術のサービスを徹底することのみ」

同業皆さんの益々のご精進ご精励とご繁栄を祈って止みません。

明治天皇御製

良きをとり悪しきをすて、とつ国に  
劣らぬ国に ますよしもがな

末筆乍ら

参加皆さんの温かいご協力を賜り大過なく大任を果し得たことに心から感謝申し上げます。

らい事でありませぬ。

又その一地方をのぞいただけの事で、全米を語る事は到底至難でありますので、概念的な





一人よがりな一方的な意見になる事でしょう。

そもそもリース又はレンタル業の発祥地がアメリカであり、日本のそのすべてがアメリカのイミテーション

であることに間違いないのですから私共は謙虚な気持で彼等の体験を聞き、形態を学び、経営方針の参考にさせて貰っても何も恥にならないと思います。

今回の訪問で最も感じさせられました事はアソシエーション(以後会と略称)のウェイトが非常に重いと云う事であり、会に対して絶対的な信頼感を持ち、絶対的な権威をもたしてあることだと思います。そのピラミッド型は今後私共の以って範としなければならぬと痛感いたします。

アメリカでは3つのアソシエーションによって組織されている様であります。即ちARA(アメリカ レンタル アソシエーション) NTRA(ナショナル トレーラー レンタル アソシエーション) RSA(レンタル サービス アソシエーション)で私共が今度訪問したのはその内のARAの第9ブロック(カリフォルニア・ネグタ・ハワイの各州)であります。そのARAを例にとってみますと厳然とした5部門の委員会によって構成されて居り(教育・法律・法令・調査・製造業者関係)頭脳的な指導が実によく行き渡っている事であり、それに伴う相当数の出版物が発刊されて指導方針と教育が徹底されていることは誠にうらやましい限りであります。又特筆すべき事項として会とメーカーがタイアップして現場に於けるレンタル機械のアフ

ターサービスを会の指令によってメーカーが一貫代行している事は会員も大いに助かり又メーカーも自社の機械だけに自信ある修理とあいまってセールス ポイントにも相当なメリットをもって正に一石二鳥であります。よって各業者もセールスマンが殆どなく事務員もその多くが女子でしめられている様です。尚保証金制度が徹底している。お国柄盗難が非常に多いためらしいが会によって総括保険に加入している様であります。

以上利点と考えられます事を述べてまいりましたが、土地柄、気候、資本力其他がそれぞれ条件の違う国柄であり、未だ数年の歴史しかない我がレンタル業界と1949年発足して以来半世紀を経過したアメリカとを比較する事事態が無理なことだとは思いますが、私共は素直に良きを取り悪きを捨ててその偉大なキャリアに対しても教えを乞う度量を持ちたいものです。特に会への信頼感と会の組織力の固さに就いては大いに見習うべきだと思います。

願って私共の現在は、一部の方を除いてお互に権利は出張するが、義務を忘れて居られる方が多く、又御自身の目の先の事に関しては目の色を代えられるが、こと会に関しては全く無関心で居られる方がある。種々条件は違いますが、アメリカの会の組織力と会への信頼感は卒直に直輸入して、それに近づく事が当面の課題ではないでしょうか。それをする事の出来る人、それはあなた御自身です。私が再三申し上げること………会なくしては絶対やっていけない時が必ず来ます。必らず。

1st Oct., '73

## アメリカレンタル業視察報告

48.7.2~48.7.11

全国建設機械リース業連合会

〔日程〕

48年7月2日(月)

13:00 P.M 羽田東急ホテル集合

13:30 P.M // 多摩にて結団式、山内団長挨拶、役員紹介、高野委員長の説明、森栄近畿ツーリスト所長挨拶、添乗、熊谷、小川両氏。

16:40 P.M 日航002便(ジャンボジェット)にて離陸

……日付変更線…… 以降アメリカ現地時間  
7月2日(月) 曇、晴

9:30 A.M サンフランシスコ空港着、入国手続後市内視察観光、チャイナタウンにて昼食・ミヤコホテル宿泊。同市人口70万人、本日寒く気温14℃くらいとの事。

7月3日(水) 前日と同じ天候であったが、内陸部のサン・ノゼのみ暑い。バスにて関係先訪問・視察



① サンフランシスコクレメンティナ社

②パーク

レー・カーターズ  
レンタル社2ヶ所  
12:00 A.M スペンガーズ海鮮料理にて日・米交歓を行う。



午後③サンノゼ・レントリット社  
日本料理店エスヒロにて夕食  
夜ナイトツアーあり、ミヤコホテル宿泊。



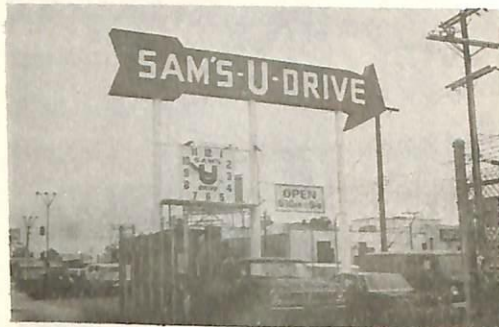
7月4日(水) ウェスタン航空2機に分乗  
ネヴァダ州ラスベガスへ。フラミンゴホテル宿泊。40℃

7月5日(木) ウェスタン航空及びユナイテッド航空にてロスアンゼルスへ、ロサンゼルス



ヒルトン宿泊。800万の街、スモッグで  
24~5℃  
7月6日(金) 本日もスモッグ、涼しい。  
バスにて視察

①サムス・ユー・ドライブ社



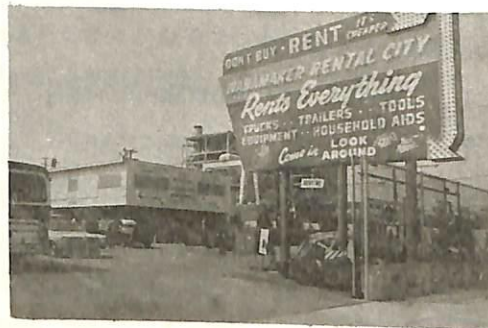
②ロバート・グラーフ社



カーターウェイズレストランにて



CRA(カリフォルニア・アンシェーション)  
会長ディック・ヒル他と交歓会食及び質疑討  
論  
午後③バーバンクワナーメーカー社



④グレンデールアクメレンツ社

夕方NBC④チャンネルにて本日の視察をニ  
ュースに放映(ロバート・グラーフ社にて撮  
影のもの)



夕食はリトル東京川福、ナイトツアーあり  
ロサンゼルスヒルトン宿泊。  
7月7日(土) 小雨あり、スモッグ、涼し  
い。ディズニーランド・ロサンゼルス市内見  
物・ショッピング・夕食イタリ料理コロ  
ンボ・ロサンゼルスヒルトン宿泊。

7月8日(日)10:30A.M

JAL016便にて(ジャンボジェット機)  
ハワイに向う。時差の関係にて12:30P.M  
着、(実飛行5時間)市内視察、観光後ワイ  
キキのヒルトンハワイアンビレッジへ。夜紅  
花ブタ食。曇・晴・雨の天候。24℃くらい。  
ヒルトンハワイアンビレッジ宿泊。  
7月9日(月) 天候昨日に同じ。

バスにて有志約40名、予定先のユニバー  
サルエクイップメント社を訪ねるが、主に建  
設機械の販売及び修理が専門であった。  
午後、ショッピング、観光



夜、ホテルロビーにて解困式が行われる。  
団長・副団長各氏の挨拶及び音頭による日本  
に向い君が代の合唱、夕食はパラダイスファ  
ウンドにてショーを観ながら  
ヒルトンハワイアンビレッジ宿泊。

7月10日(木) 最終日 晴

10:30A.M ホテル出発  
12:30P.M 日航ジャンボJAL0  
71便にて離陸、一路日本に向う。途中日付  
変更線を再び経て日本時間7月11日(水)  
3:20P.M羽田空港に着地。

[質疑等記録]

① 視察研究課題(答はクレメンチナ社に  
て予めローマ字にてタイプされたものの転  
記)

1. アメリカ建設業界のレンタル利用状況は  
答 A, 各建築会社の資本を節約する為。  
B, 制限無しに、何時でも設備を使え  
る状態である。  
C, 遠方からの会社は現地で調達出来  
る。

(※本項質問の利用状況でなく、レンタル  
のメリットの説明になっている)

2. 同業者の組織活動状況は(団体の有無)

- 答 A, アメリカンレンタルアソシエー  
ション  
B, カリフォルニアレンタルアソシエ  
ーション  
C, アソシエテッドエクイップメン  
トディストリビューターズ

3. 契約証, 料金表の備付は(有・無)

答 共通の賃貸料は無く、各社で決めてい  
る

4. 整備士及び見習員の給与待遇は

答 常に労働組合と会社の相談で決定され  
る。年間給与、福利厚生は税引き前で  
18,000~24,000ドルである。

(※日本円約500~650万円)

5. 関係官庁及び主務官庁は

答 我が社では会長、副会長、維持管理庁  
(※管理・監督者と質問を解したものと  
思う)



6. 機械購入方法及び購入価格について  
 答 possibleの限りメーカーから直接購入する  
 料金はメーカーがディーラーへ卸す価格  
 と変らない。
7. 休日、休暇(年間)について(規定又は  
 習慣)  
 答 労働組合と条約の上、年間8日ある。
8. 保有機械法定償却年限は  
 答 A, 貸主の側、賃貸契約に従って、若  
 し30日を経過して払わない場合、  
 設備をとり戻すことができます。  
 B, 借用人の側に選択の余地はない。  
 (※質問の読み違いと思われる)
9. 課税の種類及び利益の何パーセント程度  
 か。  
 答 年間10万ドルの利益が上れば税金は  
 6割半になる。
10. 過電防止器及び漏電しゃ断器等の貸出し  
 は、  
 答 安全基準に添ってガソリン・ディーゼル  
 発電機を貸出します。
11. 従業員レジャーの方法は  
 答 福利厚生施設はない。
12. 重機と軽機の取扱業者  
 答 他の会社の事情は判らぬが、我が社  
 では半々である。
13. 稼働率は  
 答 時期によって変る。忙しい時期一夏・  
 秋90%, 冬一春は50%
14. 取引、支払方法は(リースの)  
 答 貸出の条件は30日以内の支払の場合

1割の割引がある。これは請求書が  
 出されてから。例外もある。

15. 整備サービスについて

答 維持管利は貸出後一定期間を過ぎてか  
 ら行う。期間は機械によって異なる。

② 当日のその他の質疑について

質問 レンタル機械の修理はどうであるか、  
 修理技術担当者が非常に少ないようである  
 が、

答 コンプレッサーを例にとると、協会と  
 契約してメーカーが周期的に回って、  
 50時間毎にチェックしているから、こ  
 われてからどうすると云うことはない。  
 計画的でドロナワ式をしない。協会への  
 入会費は高いかも知れないが、その傘の  
 中に入れば修理は無料である。

米側よりの質問 日本では機械を返さぬ場合  
 どうしているか。

答 日本ではそう云うことはない  
 米側…… 羨やましいことである。当方では  
 偽名、ニセの住所等でなければ取締り  
 裁判になっても金を払えば良いだろうと  
 云うことになる。

質問 週5日制についてどの程度実行されて  
 いるか。

通訳のガイドより、アメリカでは週5  
 日制以外にはない。4日、3日半の会社  
 もある。失礼であるがこれは愚問と思う。  
 オーバータイムは交代制をとる。

質問 分業について

答 一つの会社で建設機械だけを扱ってい  
 ると云う例は10%くらい、協会が持つ  
 ているものもあって、その中に含まれな  
 いものだけを扱う店が10%くらいの意。

質問 運搬等について

答 配達についてパンチカードで時間制で  
 ある。又午後5時以降及び休日はWチャ  
 ージ(2倍)、大型機械は貸出料もワ  
 ンシフト8時間が1日分、ツウシフト  
 16時間が1.5日分、スリーシフト24  
 時間は2日分となる。

質問 仕事に季節によるピークはあるか。

答 なるべく月極めにしてピークを無くし  
 ている。日貸の方が儲ると云う意見もあ  
 るが、月極で安定させるようすすめてい  
 る。

スペインガーズに於ける交歓

アメリカンレンタルアソシエーション第9  
 地区専務理事クッシュョグ氏挨拶要旨  
 <協会内容説明> 全米で1957年7つの  
 会社から始ったこの協会は現在世界に11の  
 ブロックを有している。1-9がアメリカ、  
 10がカナダ、11が海外フランス、イギリ  
 ス、イタリア、メキシコ、西ドイツ、オース  
 トラリア、ニュージーランドを含んでいる。  
 年1回の会議を持ち来年は1月にルイジア  
 ナ州ニューオーリンズで機械の展示を兼ね  
 て行われる。本部は伊利ノイ州モリーンにあ  
 り、ここ9ブロックはカリフォルニア、ネバ  
 アダ・ハワイが含まれている。

日本・山内団長挨拶要旨

日本全国の建設機械のレンタル業を代表し  
 て訪米したわれわれを暖かく迎へ、詳しく勉  
 強させていただいたことを深くお礼を申し上  
 げる。スケールの広い工場、行き届いた営業  
 ぶりに感心した。今日のこの歓迎ぶりに、友  
 好的なお気持ちを深く感じている。これを機に  
 日本とアメリカの交流を更に深めて行きたい。  
 若し日本に視察・観光で来られることをお待  
 ちする。皆様のますますのご発展とご健康を  
 祝し、お礼のご挨拶に代える次第である。

③ この後の質疑応答

質問 ダンピング問題について

答 アメリカでは如何にサービス良く良い  
 ものを売るかに徹している。ダンピング  
 は長続きしないし、恐るるに足りない。

質問 最初のレンタル会社の創業とその当時  
 の資本等について

答 1949年本日2番目に行った会社カ  
 ーターズレンタルが創業、トレーラー1  
 台から始めた。現在7つの目の会社を創  
 り、51人の従業員である。

④ 工場見学メモ・サマス・コードライブ社  
 サマス・ユー・ドライブ社長談、一30  
 年前ソフトグッズ…… パーティ等の品物、  
 病院医療用器具類100ドルくらいのもの  
 から始める。

(※日本円約27,000円)

機械には一般的なもの…… 手で動かす機  
 械・芝刈機等、重機具類一トラクター・ヘ



ビーコントラクターをとり扱い、長期買取りの機械にはキャンピングカー、トラック等があり、これは半分現金、半分をチャージする。店は年中開いている。貸す時はアイディ(免許証)を控え、保証金を取る。従業員1人当り月平均3,000~4,000ドルを動かしている。重機にはオペレーターをつけない。これは貸出先の会社にオペレーターが居るからである。短期貸し(1月1日のレント屋)をやっている。

バーバンク・ロバート・グラーフ社

重機械類が主である。ゼネラルレンタル(本社)で大半の修理(92%)を行うが、サテライトレンタルを有している。オーナーは奥さんと24年前に始め、3つの会社をやっている。料金は前払い制、1000万ドル(※日本円約27億円)の機械を保有し、25%稼働すれば採算がとれる。現在40%出ている。

バスに同乗のジャック・ワナメーカー氏

現在一番忙しい時期で小型機は1~2年、大型は5~7年に消却年限を決められている。消却は当初多く、次から少くなる。価格の決め方は機械の価格と寿命から割り出す。又人件費、損かいを考慮して決める。価格協定は出来ない。過当競争については、例えば1947年13社あったものが現在22社であり、他の1社とは友人関係として仲良く機械の貸し借りも行われている。この2社の残った理由は、良いビジネスマシンを得たことと場所が良かったこと、同業

同志のディスカウントは20%でやりとりしている。社員の募集は縁故により、徹底的に仕込む方針をとっている。使用人の学歴は重要セクションのみ学卒。

カーターウェイズレストランに於ける交歓会  
CRA会長ディック・ヒル氏挨拶

アメリカレンタルのツアーを日本に送りたいからその時はよろしく。と挨拶があり、この会の組織がゼネラルマネージャーのもと一つ一つのヤードに各マネージャーがあって、2ヶ月に1回会議を開いている、と説明、参加のアメリカ側各氏を紹介する。

日本側 山内団長挨拶

最も偉大であるカリフォルニアで各地に於いてこの上ないご接待を受け感謝している。本日は日米同業者の集りとこの風景、料理と皆良いことばかりである。どうぞこの機会に皆様方の視察と観光を兼ねて来日をご計画ください。今日のメンバーに招集をかけてお迎へに上ります。と挨拶、各ブロック毎に紹介を行った。

⑤ カーターウェイズレストランに於ける質疑応答要旨

米側質問 価格問題を検討しているか。

日本側答 専門部会を開いて標準料金の検討

日本側より質問 ダンピングの協定又は対策  
答 プライスの固定はアンチトラスト法によりできない。日本では?

日本側答 話し合い、機種による標準料金を

作っている。

米側質問 日本の団長は2,000のレンタル社があると云われたが、この協会に入らねばならぬのか。

答 任意加入である。オペレーターのない業種が多く、アウトサイダーを入れたら2,400~2,500社であろう アメリカには加入の義務があるか?

米側答 カリフォルニアで1,500社あるが60ドルの会費を払っているのは600社に過ぎない。全米でのレンタル社は8,000くらいの協力を得ている。

日本側質問 営業時間について(時間外等)

答 カナダのナッシュ社では25時間の営業である。一般に1日8時間制で3ドル~4ドル(※810円~1,080円)、週40時間以上の場合社員に残業手当を払っている。

質問 ユーザーが借り、機械が故障の場合は

答 普通故障はあり得ない。

質問 アメリカのレンタル業は眠りから覚めた巨人である。と云われるが、

答 その理由はレンタル業が急速に伸びているからであり、又、われわれがレンタル業のパイオニアでもあるから

質問 レンタル業の動機…… 社会的意義なるや儲けのためであるか。

答 4~5年前までは必要からの業種であって儲けを重視したが、現在はプライドをもってやっており、社会的貢献を考えなくては行かざるべきである。

質問 歴史について

答 30年前トラックを売っていて、この需要が生れた。特に第2次大戦後、金も機械も無い時期に大きく成長した。特に建設・土木関係では土建会社と結んで大きく発展した。

質問 年成長率について

答 詳しい資料がない。

米側より質問 日本での従業員の賃金は、

日本側答 年平均150万円であるが、他にボーナス、退職金及福利厚生施設等がある。

日本側質問 アメリカのレンタル社の規模

答 年100万ドル(※日本円で約27,000万円)以下の小会社が10%くらい。大は100万ドル以上の会社、成長率は年10~15%で、小会社は年10~20%の成長率を望んでいる。今後現在の多種類の販売から専門化しよう。

質問 社員の業務別割合

答 80%がブルーワーカー、20%がセールスプロモーション

質問 公害問題について

答 騒音が深刻化しているが特殊なサイレンサー等で対策を打ち出している。合衆国政府も厳しくなっている。

質問 日本では大型機械などリースのリースが行われているが

答 そう云うことはあり得る。

質問 リースの売り込み方

答 大きな会社では専門のセールスマンがレ



ントする、が普通はほとんどない。

質問 従業員の厚生施設

答 ない。

質問 買入は現金であるか分割であるか

答 現金で買うものはあまりないが、昨年のカリフォルニアでの展示会では300万ドル(※日本円約8億1千万円)の機械がその場で売れた。

質問 投下資本に対する利益率、純利益率

答 25%の利益率、税を払うともっと少くなる。

質問 公益法人であるか、任意団体であるか

答 登録された団体であり、資質の向上と顧客に対するサービスを心がけているが、これからは広告、テレビ等に全体的にPR活動を行いたい。

他、山内団長の提案

全国建設機械リース業連合会とCRAの兄弟協会の件、ディックヒル会長了承最後のディックヒル会長の発言

CRAでは今后2倍の給料を払い、週35時間労働にすべく検討中であり、厚生届でも

宿舍を華氏72°に保つ努力をしている。顧客も従業員のことを考え夜10時以降になる場合会社で交通機関の便を考え、又ユニホームの支給、朝の4時間中の15分の休憩を作るなど、或いは25ポンド以上の重量物は1人では運搬させないなど考えている。日本では如何でしょう。

解団式について

山内団長挨拶要旨

無事故の視察旅行も終わろうとしている。皆様、各委員に感謝致します。研習については数々の有意義な勉強ができました。皆様のご協力に厚く感謝致します。

続いて副団長である宮野、木立氏の挨拶、最後に高野委員長は

この10日間の旅行が大過なく終り団長始め各役員、皆様方のご努力とご協力によって有意義な行事の積み重ねであった。日本の国が発展する原動力を大いに培い国と皆様のみますの発展を祈って止まない次第であります。と結び、続いて同委員長の音頭で日本に向い君が代の合唱が行われた。

## A R A (アメリカレンタル協会)の紹介

西尾リース株式会社

社長 西尾 晃



今回の視察により、アメリカ・レンタル業界の現況・動向をキロツテする上で、密接な関係にある。アメリカ・レンタル協会と接することが出来ました。

今回投稿の機会を得ましたので、このアメリカ・レンタル協会的一端を紹介することにより、今後の日本における協会活動の“あり方”に若干でも参考になれば幸いです。

= A R Aの内容 =

所在地-1951 5 th. Avenue Moline Illinois 61265.

会長-C.A.Siegfried, Jr. C.A.E

設立-1965年

会員数-1933名(業者数は約8,000~9,000といわれている)

支部-全米を10地区に分割、それぞれ支部を設置している。

業種別評議会-支部とは別に取扱機械別の組織があり、現在4業種部会が設けられている。

《 会員について 》

これは三つのクラスに分かれています。その内訳は

- o 個人会員-(1,489名)  
レンタル会社のNood Office又はその代表者の集まり。
- o クラスII会員-(206名)  
レンタル会社支店マネージャーの集まり。
- o クラスI会員-(238名)  
製造業者及び販売業者の集まり。  
特にメーカー・商社の加入ですが、業界地位も高く、殆んど有力なメーカー等は参加しているようです。

《 会費について 》

- o レギュラー・メンバー  
グロス・レンタル収入の額に応じて(月額)  
\$100,000以下…………… \$100  
\$100,000~\$200,000… \$125  
\$200,001~\$300,000… \$150  
\$300,001以上…………… \$175
- o ナショナル Company メンバー  
年間のグロスレンタル収入が  
\$1,000,000に達するような複合会社を管理する企業。  
外国企業も会議での考慮によりナショナル company メンバーの資格を得ることができる。  
最低 \$1,000-プラス支店数×\$10-



○その他 2～3の区別があります。

《事業内容》については非常に豊富で、かつ積極的に活動しているようです。

1. 会員に有効な情報の提供

○月刊紙“Rental Age”の発行(かなり内容も豊富です。)

○充実した会員名簿の作成

○会員章、会員看板の提供

2. 時流に合った非常にタイムリーな法律の通知

3. 経営資料の提供

○特に立派な教育訓練マニュアル、商品管理マニュアルを発行し各企業がそのまま活用出来るものを配布しています。

○より便利な方法として、会議報告やトピックス等は演習カセットテープにして配布しています。

4. 価値ある内容の書物作成

償却問題、安全衛生に関する規則、レンタル調査資料等、直接レンタル営業に役立つ

つ小冊子を数多く出版しています。

今回、私も十冊程、入手して帰りましたが、いずれも仕事に役立ちそうなものでした。一翻訳未完一

5. 広告宣伝プログラムの作成

特にARAのシンボル・マークを巧みに利用して全国的PRを行っている様です。

6. 売上増進の援助

この中には広告の秘訣を教えるノートブックや、会員の取扱総合商品案内の作成があります。

7. 保険・労災プログラム

8. 全国大会・地方会議の開催

これらは年1回盛大に行われます。

特にメーカー等がレンタル向商品を陳列もします。

以上そのあらましを紹介しました。多彩な活躍ぶりは、これをうまく活用する限り、会員の会社経営に非常に役立つと思われれます。前述の会費についてもそれだけの価値があるのではないのでしょうか。

\* \* \* \* \*

## アメリカ視察旅行記

札幌市 松本機械株式会社 松本 常義

異郷の地ヨシの随から天井のぞくの記

○アメリカ建設業者のレンタル利用状況について

大型土木工事が一段落し、又アメリカ経済の沈滞ムードのためか大型建設機械の利用度は多くない様に見受けられる。又それに変えて荷役機械、住居関連機器、レジャー関連器の利用度が増している様であるが視察先の説明する高稼働率(夏90%、冬50%)は上っていないと見たのはひが目であろうか。

○同業者の組織活動状況について

全米協会、州協会集があり積極的に活動している様である。

○我が連合会で悩んでいる価格問題では

第二次大戦中及戦後の建設最盛期は業者もらん立し、ダンピング低価格も多発したが、需要の一巡にともない、レンタル業者も減少し最近では安定気味に見受けられる。

○業者個々の営業活動について

完備された置場に整然と並べられた機械、古い機械でも安全に整備して利用している点、帳票管理、貸出の安全確保集、見做う点も実に多かった。又住居関連、レジャー関連機器の取扱いのせいと多くの会社が年中無休に近い姿勢で営業しているのには労働環境の進んでいるアメリカに於けるレンタル業の位置に改めて考えさせられる。

○その他について

日本のパイロットより数段手荒い(上手なのか?)操縦による西海岸旅行途中休日ありラスベガスに一夜を過ごし、色とりどり様々な人種に混り砂漠の熱気、ギャンブル、酒、女等西部の昔のふん囲気に接す。総じて国土の広大さに起因するのか、道路網、橋、レジャー産業等々スケールの大きさが目立った。又道路、垣根、庭先、その他あらゆる所に見受けられた色鮮やかな草花、造園技法集合まで知らずにいたアメリカ人の一面がうかがわれた。

## 宮城県建設機械リース業協会発足にあたり

仙台市

会長 阿部喜平

県内リース業者多年の宿願であった協会の設立については、中央協会の御指導・監督官庁の御援助によって去る6月16日、25社の正会員、10社の準会員及び25社の賛助会員の構成をもって発足いたし、続いて8月27日第1回理事会によって全国連合会に加入することを承認されまして協会としての活動の基盤が確立されました。

改めて本紙上を拝備いたし厚くお礼申し上げますとともに今後の御協力をお願いいたす次第であります。

発足早々の段階にありますので、先は内部体勢の充実が先決事項であります。当面として次の三点について検討を進めておりますことを申し上げ、会員の方々の御叱正を賜りたいとお願いいたしております。



### 第1 正会員・準会員個々の営業上の問題点の把握について

会報第2号によりますと宮野副会長が、連合会のメリットに就いて御苦心のところを披露されていますが、誠にその通りと感じ入ったところです。

県協会としてもこのメリットは何にかを追求することは極めて重要な事項であります。これを確実に把握するためには正会員・準会員個々の営業上の各種問題点の集約化こそがその決めてになるのではないかという考えのもとに手間の掛ることではあります。い

の1番に取上げたものであります。これが盛になりました場合は、よく現経済事情を研究いたしその時点に即応した優先順位をもって処理を進めたいと期しております。

### 第2 業界における宮城県の地位の再認識について

現下の経済界から見た東北就中宮城県の価値については今更記することが、ない程P.R.されておられ、リース業界についても論議しつくされているところであります。

道路、鉄道、海上輸送等について素晴らしい発展が見込まれる現在、協会として改めて県の持つ地位についての認識を再確認し、その認識のもとに協会の進路を方向づけ、会員の努力をその方向に集中強力な活動が、できることを望みたいと考えております。

### 第3 他の東北各県に協会の設立について当協会の内部体勢を充実すると同時に、他の東北各県単位の協会が、設立されることは今後の東北の発展に即応するためにも極めて有意義なものと確信しております。

協会設立の準備には地域の特性によって相当の期間を必要とすることを考えましたとき、できうる限り早期にこれを推進することが大切となりますので、当協会としては殆ど、同時作業として推進の下準備について検討いたしております。

県・東北更に全国連合会とパイプが、太くなる程協会の目的達成敢えて言えば、メリットの追求が、より効果的になることを信じながら、こつこつと努力を積上げてまいりたいと考えております。（以上）

## 宮城県建設機械リース業協会 設立総会を祝いて



全国建設機械リース業連合会

東京建設機械リース業協会

会長 山内 鹿蔵

一言御祝詞を申し述べさせていただきます。

本日はここに宮城県建設機械リース業協会が創立総会を東北地区のリーダーとして北の都仙台に於て各界の有力者を御招きして盛大に開催されますことは、業界のため誠に慶賀に堪えません。

一口に業界の結集と申しましても私共リース・レンタルの企業は、新興産業であり夫々の地域条件、昨今では特に社会状況、経済態勢の変化に伴い直ちに業界に反映せざるを得ない時代にあつて本日のこの華やかな結成の蔭に其の経路において幾多のアンチレーションを乗り越えて来られた準備委員の方々の御尽力は元より、会員諸賢の御熱意、御協力に対し萬腔の敬意を表するものであります。

1. 私共リース業界が社会的地位の向上、公共福祉への貢献する趣旨の元に結成されましたが、去る45年4月当時は、東京・大阪・中部の三地区で発足して以来引続き北海道、神奈川、中国、東中国、兵庫、静岡、四国、九州の11地区が誕生し最近沖縄県の結成に依つて会員500社を数え日本全土に涉つてリース業界の動向が直ちに伺える様になりました。

2. 此の間親睦に依る情報の交換・遊休機械の交流をはじめ、御存じの通り昨年3月25日付を以て国税庁承認個人申請に依る保有機械耐用年限の短縮、同4月1日付で通産省告示7422号、建設機械賃貸業、産業区分の確立迄に至り、その為に建設省、通産省、労働省、大蔵省、国税局への訪問接衝御理解の元に、又会員の各地区から資料及び現地調査等挙つて御協力下さった結晶の賜で団体活動が身を結んで此の様な結果を見た次第であります。

尚最近では2月1日労働安全衛生法の実施に依り漏電防止、玉掛講習等安全対策実施その他公害防止についても種々（座談会・講習会）協議しつづ贊助会員であるメーカーさんにも多大の御配慮を戴いて居ります1例として最近サイレンサー付の機械が相当出廻っている。



## 昭和47年度第3回理事会記録

1. 次に此処数年政府施策の経過を見ますと民間設備投資指主導の輸出指向型から1昨年9月のドルショック以来財政主導の福祉型に経済状勢が転向し昨年末諸物価、人件費等の統騰極度なインフレーションを招きその限度がつかめないまま、公定歩合の引上、預金準備率の引上等漸くその引締めめがきざしが見られその反面リース料金の適正正常化が各地区に呼ばれ目下東京、大阪では正常なる原価計算と商業ベースの研究等審議を重ね専門部門に依る部会が結成せられ体質の改善と合せ協会連合会の中で重要な役割を果しつつあります。

尚、当リース協会・連合会の友好団体である日本クレーン賃貸業及びローラーリース協会は単一機種の関係で凡ゆる面で集約化されつつありますが、最も機種が多様に涉って居る関係でリース業協会連合会は全体的結論が出るのに暫く時日を要するものと考えられます。

1. そこで将来リース・レンタル業界はどうあるべきかと申しますと、ユーザー・メーカー・さんに依存されるは勿論関係諸官庁の指導を受けつつ、社会的地位の確立を目指して名実共に期待されるリース・レンタル企業として育成しつつ業界千年の基盤を固めるべきであると思ひます。

尽くるところ他産業に比して員数は少ないが組織力財務力政治力の充実にあり、その為には第一線の地区協会が組織力の拡充を計られたいず連合会との連絡を密にされたい。

そして時機に適切な指針と定め運営の円満化を施策すべきだと思ふ。

1. 本日各界の先輩の諸先生方をさし置いてリース連合会の概要を披歴申し置いてリース連合会の概要を披歴申し上げまして誠に失礼いたしました。終りに臨んで御来賓諸先生の御指導御鞭撻に依り宮城県建設機械リース業協会の益々発展と、会員皆様方の御繁栄を祈りつつ、降壇いたします。(お祝いの言葉いたします。)

1. 日 時 昭和48年2月5日(月)
2. 場 所 足柄郡箱根湯本597 吉池旅館 0460-5-5711 代
3. 参加人員 北海道1名、東京7名、神奈川11名、中部4名、大阪5名、中国1名  
東中国2名、兵庫県2名、四国1名、静岡5名、他1名 計40名
4. 議 案 先きに送付なお当日配布した議案にもとづき審議した結果は下記のとおりであります。

### 5. 議事進行状況

- (1) 司会 神奈川 嶺山敬商店 山田敬太郎
- (2) 会長あいさつ要旨 (会長 山内鹿蔵)

新しい年を迎え、まづは明けましておめでとうございます。本年の年頭に箱根湯本で理事会を開催するに当たり、一言だけ御挨拶を申し上げます。

一言で申しますと、六朝の普書に「洛陽の紙価を高める」言う言葉があります。

役員の皆様盛気みちみちたお顔を拜見し、この上なくよろこんでおります。今回は神奈川県の方々のコンペに会場設営にいたれりつくせりの御協力に感謝いたします。昨年来の総選挙等により、日本列島改造論や超大型予算等皆様御存知のとおりであります。私の友人で元経済企画庁の方の一部を申し上げ本年のあいさつといたしたい、政府は輸出進型による政策のもとに経済の立てなおしを計っておるが他面、福祉指向型へと変って来ている。

インフレを前提として経営、財政確立、技術向上を計ると共に我々のリース料金、この額をどのように改正保守して行くか施策を検討し業界の指導と会員の資質の向上を計るよういたしたい。

昨年は耐用年数の短縮について努力し成果を見ました。本年は相互の利益保金のため熱意と努力と協力により

- A 法人化問題の推進
- B 組織の強化拡充
- C 安全運動、公害防止対策の解決

等に努力して参りたい。本会議を意義深い会でありますようにいたしたい。

簡単ではありますが以上をもちまして私の挨拶いたします。



(3) 静岡地区の出席者 高島, 松井, 斉藤, 北村, 市野5氏の自己紹介あり。

(4) 相談役 大阪 脇田機械(株) 脇田竹広氏あいさつ

しばらくでありました。天下の名勝地箱根にて第3回理事会開催 誠に意義あること  
と思います。47年度も過ぎ、48年度4と8で8は末広がりであり、よい年になるも  
のと思えます。連合会が今後益々発展することを祈りまして簡単ではありますが私の挨拶  
といたします。

6. 中村神奈川会長を議長に選任

本日は全国の北から南まで、2月の寒いところを箱根までお出かけ下さいまして誠に有難  
う御座います。初めてのことで十分なおもてなしも出来ませんが当県で理事会を開催させて  
載きますことを心から感謝いたしております。最後までスムーズに会が進行しますようお願い  
申し上げます。なお議案審議に当り1議案5分として進めて行きたいと思えます。

7. 議案審議(報告その他を含む)

報告連絡事項

(1) 社団法人の推進状況 東京~西垣理事

いかにして早く社団法人にすべきかについて進めて参りました。

建設省機械課長あくつさんが転出され、現在上東課長が来られた。担当窓口も田中補佐か  
ら森田補佐と変わった。人が変わると考えも変わるので調整して参りました。

新しい上東課長は理解ある方で協力的である。我々の内部につきましても不足の部分もあ  
ります。我々は各地区におきましていかにまとめて行くかであります。

先般 森田課長補佐から、協会加盟業者数、アウトサイダー数の比率、保有機種台数等の  
調査依頼あり、一応まとめ提出しておきました。機械課のほか建設業課も必要な課である。  
その門戸である鈴木専門官も当時はなかなかむずかしいことを言っておったが最近は上司  
の考え方次第で進む道もあるのではないかとやわらかな言動になって来た。計画局栗屋参  
事官をたよっていたが、国土計画局長として転出した新しい実力者がすようにしたい。

建設省に対しては一層法人化推進に努力して行きたい。簡単ですが以上で報告といたしたい。

関西支部から

四国、九州が加盟されていない。昨年2月岡山、広島が加盟する準備を進めている。四国  
のトヨーリースさんのおいでになっておりますが、近いうちに本部と2,3の方々を訪  
問することになっております。稲尾産業さんに九州支部として加盟方をお話することにな  
っております。以前の貸与公社と同様なものではないかとの考えもある様である。四国、  
九州、兵庫は現在のほか一円をまとめる様に願っている。

2. 連絡報告の2

アメリカ、レンタル業者視察の件

近畿日本ツーリストの森栄課長より説明あり、

事務局より各協会ごとの参加数61名であることを申し上げた。神奈川、中部、中国より追  
加の意向あり、約70名となる予定である。

3. 連絡事項の3 全建機連加盟、承認様式について

事務局より説明、岩田参与より加盟時の所属協会会員数を加えてはとのことであり、追加す  
ることとし、承認となる。

4. 緊急動議 中部宮野副会長より

全建機連の名称は他にもあり、まぎらしいので、全建機リース連等に改称してはとの意見  
あり、リースは最近変更しないか等種々意見あり。

結局……次回理事会までに各地区協会にて検討したものを持ちより決定することとし  
た。

5. 渉外委員長……(部門別)及び理事補充について

事務局より筑紫建機の田中理事及渉外委員長が会社の都合上やめられたので、その後任とし  
て、渉外委員長には西垣(理事、広報副委員長)氏を渉外委員長兼務に、理事小松企画副委員  
長と補充をしたいことを提出……承認された。

6. 議案1 法人化を強力に推進するため組織の拡充と財務の確立について

事務局より 法人化を推進して行くためには現在の月300円の会費では困難であるので、  
月500円位に会費の値上げはならないのか。

法人化を推進するためには、傘下協会の一層組織の拡充を強力に推進し、関係機関との交渉が  
必要である。

東京一小保理事より12月までの収支について説明、月500円にした場合は約40万円位の  
財源が得られる等の説明あり。

審議の結果 昭和48年度より会費は月500円とする案が承認された。

7. 2号案 静岡県建設機械リース協会の全建機連に加盟承認の件

事務局より説明、各人の紹介(5名) 加入会員 18社 加盟の件提案

本件承認があり、高島静岡会長よりあいさつあり。

8. 3号議案 全国標準建設機械賃貸料金の再検討について

標準料金については検討の上料金の設定を見ても守られなければ、地域により多少差がある  
ので地域ごとにしては等、種々意見が出まともらず。



結論として…… 調査委員会において全建機連案としてまとめてもらうこととした。

(5品目位を上げて調査検討したい)

9. 5号と3号低貸貸料で貸出業者を徴罰する案他

大阪より、バイプロ専門部会について説明(ユーザ価格, 業者仲間価格の決定)

徴罰については違反したものに対する措置で除名等であることの説明あり。

10. 4号 末組織地区の協会設立促進について

中部より, 九州, 四国, 仙台, 新潟, 北陸等未加入, 未設立協会の設立, 加入するよう努力してこそ連合会の発展があると思われるとの説明。

結論として…… 末組織地区の協会設立促進, 加盟の件 承認

11. 7号は詳略

12. 6号 全建機連並びに各地区協会会員の資格をユーザーに対して高揚させるべく努力する。

新聞, ラジオ放送等にて宣伝する等してはどうか。テレビまでは無理かもしれないが, 一般的に普及されないくらいがある。これも結局は資金面の関係も大いにあづかりがあると思われる。結論として機会あるごとにPRして普及に努めることとなった。

13. 8号 中国より 議案の3,5,7にあるように, 中国の協会として統一すべきでないかと思い, 全国料金なみにならい作成した。なお, 全建機連の組織の強化を計ってもらいたいのが中国としてお願いしたいのが願いです。

結論として 異議のないことで了承した。

14. 9号 リース信用保険制度について

小俣理事より, 知識集約のないうとして, リース, チャーター, レンタルが入ることをこの制度は歌っている。その他諸外国のリースの状況の説明, 我々の保険制度は一諸にならないこと。5年以上賃貸しなければ対象にならないこと等の説明があったが詳細な説明をすると長時間に亘ること等から,

結論として, 次回理事会に要約したものをプリントして渡すことで了承した。

15. 岩田参与から会報(2号)1000部作成それぞれ各協会に発送すること。名簿作成のため, 3月末現在で会員数を事務局宛一報されること等了承された。

署名人 北海道 片桐機械金属(株) 片桐 亘  
" 中国 富野機工(株) 野口 誠 輔

以 上

## 昭和47年度第4回理事会記録

1. 日 時 昭和48年5月11日(金)

2. 場 所 東京都港区赤坂葵町2番地 虎ノ門共済会館 TEL 03(583)5381~7

3. 参加人員 北海道~2名 東京~7名 神奈川~4名 中部~4名 静岡~4名  
大阪~6名 東中国~1名 兵庫~1名 四国~2名 計31名

4. 議 案 先きに送付いたしました議案にもとずき審議

(1) 九州, 四国建設機械リース業協会の加盟承認の件

九州は現在30社で全九州を入会させ40社として加盟したい意向であるので, 今回はそれまで承認延期として, 四国は加盟承認の件 全員一致で承認された。

(2) 列島改造に役のポスター配布の件

関西方面各協会にはすでにサンプルが配布されており, 中部以東地区協会に一枚当て配布一応希望枚数を協会ごとにまとめ事務局に連絡することとした。

(3) 次回理事会開催地及び期日について

北海道か東中国かで話し合った結果, 北海道にて第1回理事会を開催することとし, 期日は, アメリカ, レンタル業者の視察もあり, 8月上旬ごろにとのことになった。

(4) 会員章の制定について

見本を次回理事会までに作る。作成することについて了承

(5) 全建機連の名称の再検討について

「全建リース連」中部案については東京は賛成

結論として, 次回までに検討持越し, 企画委員会にて検討することになった。

(6) そ の 他

A. 大阪からバイプロ部会の新料金に対する協力依頼状見本として配布

B. 定数, 細則, 支部規程, 旅費規程を新たに案として作成したので各協会にて次回の理事会までに検討して載き審議したい。

C. 神奈川の緊急動議は総会にて発言してもらうことで理事会を終了。



## 昭和48年度第1回理事会記録

1. 日 時 昭和48年8月27日
2. 場 所 札幌市南七条東一丁目 札幌国際観光(株)ロイヤルホテル  
TEL 011(511)2121
3. 参加人員 33名(内宿泊者28名) 他 北海道協会員多数参加
4. 議 案 別添配布した議案に基づき審議した結果は下記のとおりです。
5. 議案審議状況

司会 北海道 松本理事

不馴なため会場設備その他十分とは申せませんが、ご諒承賜ります。何時もの例にならしまして議長は地元北海道の会長であります。伊藤会長にお願いします。

議長が健康にすぐれない点もありますので、進行につきましては、山内会長にアドバイスを得進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

初めに伊藤議長より挨拶を願います。

伊藤議長挨拶

全国建設機械リース業連合会の本年度第一回理事会を北海道で開催することになりました。本当に有難うございました。この会も8月2日定山溪で開催する予定でありましたが、学生の休みその他で旅券の都合で延び延びになっておりましたところ、本日ここで開催するはこびとなりました。はるばる北海道までおいで頂き有難うございました。よろしく御審議を頂きますよう、誠に簡単ではございますがご挨拶と致します。

山内会長挨拶要旨

本年度第一回理事会を北海道でやらせて頂くことになりましたところ、先程議長の挨拶にもありましたとおり、7月のアメリカ・レンタル業者の視察、夏のレジャー等のため旅券が入手出来ず本日まで延び、大阪と一部の方々に大変迷わくをかけたことを、あらためてお詫びいたします。さて日本列島はインフレーションのさなかにあり、経済事情も深刻なものあり加えて明治9年以来の気象活動に見舞われて早魃になやまされしております。なごやかな理事会が開けることは有難いこと。再三の公定歩合の引上も効果がない。その他公共事業費を7%くり延べる等建設業界に対する影響も出てくるものと思われる。リース業界はどう経済界に対処して行くか、腹をわり、しんげんな討議により審議してもらいたいと思う。

経済界がどのようになろうと、リース、レンタル業界が微動だにしないようにしたいものである。おわりにのぞみ、先きに顧問である古賀先生と建設省の上東機械課長より連絡がありまして、建設省事務次官坂野重信氏の後援会を作ることになり、発起人の一人にとのことであり今後の事情もありお引受けいたしておきましたので一言申し上げます。

議事進行状況(要旨)

- (1) 宮城県建設機械リース業協会の加盟承認の件

全会一致にて承認された。

- (2) 定款、細則、旅費、出張費、支部規程の検討の件

岩田参与から説明あり、一応原案を持ち帰り検討してもらう。

合同委員会でまとめて理事会に提出、来年の総会までに提出することで一応諒承。

- (3) アメリカレンタル視察結果について

イ. 高野(東京) 有意義に視察は終了した。内容については文書で次の会報に発表します。次回は東部地区等の説明あり。

ロ. 宮野(中部) 産業機械新聞8月3日発行のアメリカレンタル業の視察報告を朗読、説明された。

ハ. 西尾(大阪) 組織について、3団体がある。A.R.A. M.T.R.A. R.S.A.

主力は今回訪問したA.R.A

総数 1933

レンタル代表者の集り 1,489社

レンタル支店のマネージャー 206

製造、販売会社 238

支部は 1~10 他に4部会がある。

- (4) 社団法人認可推進状況について

西垣理事 前回は説明いたしました。法人化への運動を進めている。上東課長が好意的である。6月下旬訪問した際、現在の機種別保有台数はとの話しであった。東京のものはあるとのことで一応概算を出して提出してある。全国のものを知りたいとのことで、7月中旬までにご回答を願うようにして各協会当をお願いしてあるが回答のない協会があり、建設省に回答が出来ないので概算でよいので回答のない協会は至急事務局まで御回答を願いたい。



(5) 災害防止月間の推進について

結論として、小田切理事に依頼 委員会で再検討してもらい、全国的な安全週間ごろ実施することにしてはとのことになった。

(6) アメリカレンタルアソシエーション専務理事ビル・クツシング夫妻来日状況について  
山内会長 来日は旧交と交流、慰安、ビジネスで来日されたもの。

東京では、4社を案内。椿山荘にて懇親会を開催。中部では宮野会長が各所を案内。大阪では、西尾リースほかを視察され、よろこんでお帰りになり来年の10月頃協会として来日される予定との話しであったとの説明あり。

(7) (8) 法人化問題を促進させるについて全建機連の名称をレンタル又は賃貸業に改称したらどうか。

全建機連の呼称変更と各協会よりの呼称について  
種々と意見が出たが、レンタルが本質であるがていこうを感ずるまではリースで行く。略称は「全建リース連」と呼称する。と夫々決定を見た。

(9) 盆、暮の贈答品の自粛運動をしたらどうか。

得意先に対する中元等が多くなったので縮小しては  
一年間世話になったのだが派手なことをしないで、タオル1本でもよいのでやってはどうか等の意見が出、縮小して行くようにすることとなった。

(10) 部会制について今後の課題

大阪・広津理事 アメリカ視察を合理的になされ有意義であったとのこと、我々は仕事上もうけなければならない。それがためには部会制の必要性を認められ、発足を見たもので現在順調に伸びている。発足した部会は、バイプロ、ポンプ、コンプレッサー、ローラーがある。

東京・高野氏 大阪にならい、東京でもコンベア部会が発足現在効果を修めている。次に、バイプロ発電機部会がある。近くポンプについても新電気に呼かけを依頼してあり近く発足を見るのではないかと思われる。自由経済下で価格をきめがたい点もあり、責任者である私の努力の及ない点が多々あり申し訳ないと思っている等の説明が夫々なされた。

(11)と(13) (11) 各地区の実情賃貸料金の提出に関する件

(13) 全国的な統一標準価格を設定してはどうか。

小侯理事 二宮さんの前回の提案であり、今回四地区(東京、神奈川、中部、大阪の幹事委員会)にて再調査してやる。調査に当たって事務局より依頼するのですみやかな

回答を願いたい。委員会にて作成する。

(14) 中国リース協会において。東中国リース協会と合併する希望がありますので全建連で検討してもらいたい。

両協会とも会員が少なく、事業発展のための事務局も置けない状態である。両協会が話し合ったところ同意で個々の協会事務局を置くと会費も相当多額になり運営上困難になり、事務局は置けない状況で合併し事務局を独立させる話し合いをし両会長が合意点に達した。合併すれば50社程になる等の説明があり。合同されるのは結構であるとの結論になった。

(12) 末組織地区の協会設立とその情報に関する件

岩田参与 北陸3県で、一時中部に入り後日独立してもよい情勢にある。

山内会長 福島(郡山)で20社位いで設立したい意向もあり、宮城県に一部加入しておるものもあり検討されるように話してある。

九州は、大阪の志茂坂さんに依頼したい。

沖縄は海洋博の際地域業者と座談会を持ちたい等夫々説明あり。

(16) 広報委員会の活動について

岩田参与 会報等の広告取りに広報委員会として活動はしているが皆さんの一層のご協力をお願いしたい。

(15) 第二回理事会開催地の決定について

山内会長 第一回理事会が諸般の事情で大変伸びてしまったので、10月末から11月初めにやりたい。会長一任に願いたい。諒承。御諒承を得ましたので中国と東中国にお願いしたい。諒承され、岡山周辺で開催することに決定した。

(17) 緊急提案 会員章の制定について

事務局長 前回の理事会の折り全国の会員章の制定をしてはどうかとの話しになり、見積りをしてみることにし見積りを依頼した結果アクリル製黒地に金文字で御覧の図の様なもので

..... 2,000円 1枚  
..... 2,200円 1枚  
とのことであるとの説明

結局法人化されるまで待つことに決定(当分は作成しない)

議長挨拶 十分意がつくせずつい申しわけありませんでしたが、これもちまして終りたいと思います。有難うございました。

以上



## 各委員会の活動状況

### 第1回合同委員会議案

(S.48.6.27 大阪協会にて)

全国(事務局)

1. 社団法人認可推進状況について
2. 会報3号, 全国会員名簿作成具体的推進要綱について
3. 三団体(リース, ローラ, クレーン)懇談会状況について
4. アメリカ, レンタル視察状況について
5. 専門部会の結成と経過について
6. 宮城県建設機械リース業協会創立総会について
7. 九州建設機械リース業協会の現状について
8. 沖縄建設機械リース業協会の準備状況(結成)
9. 理事会(8月2日北海道)議案提出等について
10. その他

以上

本部提案予定(第1回北海道理事会)

1. 宮城県建設機械リース業協会の加盟承認の件
2. 定款, 細則, 旅費, 支部規程の検討について
3. アメリカ, レンタル業者視察研修結果について
4. 社団法人認可推進状況について
5. 災害防止月間の推進について

### 総合委員会開催結果

1. とき 昭和48年6月27日  
P.M.2.00~P.M.6.00
2. ところ 大阪
3. 出席者 東京 山内, 新川, 西垣, 香取  
神奈川 木立, 水品  
中部 岩田  
大阪 脇田, 下茂坂, 小田切,  
広津, 和田, 成松屋,  
秋田, 畑, 他1名  
計 16名

4. 司会 畑事務局長

5. あいさつ 山内会長

6. 審議事項

(1) 社団法人認可推進状況

建設省の建設機械課, 文書課, 建設業課, 振興課, 参事官(元文書課長)を訪問し推進した状況について, 好転している。通産省も関連している。通産省の交渉については建設省において話し合い中であるから, 後日時期については指示する。

なお, 保有台数の調査の要望あり至急調査に協力願いたい。7月中旬ごろまでにまとめ提出したい等, 西垣理事より説明。

(2) 宮城県建設機械リース業協会創立総会に出席して, 山内会長より盛大に行なわれた。将来東北地区を一本にまとめたいようである等の説明あり。

(3)(4) 九州, 沖縄の現状等について

九州は 小田切理事の説明によれば  
長崎, 鹿児島, 熊本を含めて  
17社が連合会に入りたいと  
の話しである。

なお, 九州は脇田会長の方で  
調査願うことで諒承。

沖縄は 25社位ありとのこと  
日本貸貸公社のことで建設省も困ってい  
る等の話あり

5. 三団体(リース, ローラ, クレーン)懇談  
会状況について

許可, 認可, 登録制等の場合は連合会に  
て活動して行きたい。その他。

6. 専門部会の結成と経過

小田切(大阪) 大阪は一つづつまとめ  
て行かなければ単価が決らないところ  
から専門部会の発足にふみ切った。

7. 会報3号, 会員名簿の作成について

会報3号 9月15日までに完了するよ  
うに進めたい。表紙は二重橋を。

名簿 A5版

内容は (1) 営業品目  
(2) 社名, 代表者名  
(3) 住所, 郵便番号  
(4) 電話

のみの名簿とする。その他については  
広報委員会にて。

◎社団法人化にともない総会費は

財源として 1,000万円以上必要

(認可条件として)

例えば

協会々費 3,000円として

500円を本部費, 2,500円を支  
部運営費として還付する案で諒承  
願いたい。 諒承。

◎第一回理事会を定山溪でなく, 札幌市内で  
出来ないかとの話しが出, 事務局において  
北海道と交渉してみることで諒承。

その他懇談あり。

## 広報委員会の開催とその結果

9月18日開催のみだしの委員会開催結果は、つぎのとおりであったので連絡いたします。

### 記

1. とき 昭和48年9月18日 PM2.30 ~ PM4.30
2. ところ 東京協会事務所
3. 出席者 西垣(東京), 岩田(中部), 香取(全国)各委員  
都合で 大阪・小田切 横浜・水品 各委員欠席
4. 議事
  - (1) 会報登載記事について  
ア・アメリカ・レンタル視察記事については、第3号に全部掲載する。メ切は厳守する。  
イ・記事依頼状と編集要領(別送付)を各協会、依頼者に発送する。  
ウ・福島県の動きについては、宮城の阿部会長に連絡を取る。  
エ・災害防止ポスターの製作(デンヨー(株)依頼中のもの)3,000枚依頼、各協会々員  
1社につき5枚程発送する。作成は9月末日までに完成し各協会宛発送する。  
以上

## 第2回合同委員会開催結果について

1. とき 昭和48年10月12日(金) PM1.00 ~ PM7.30
2. ところ 名古屋市 テレビ塔西 円庄にて
3. 出席者 大阪 志茂坂 広津 和田 小田切 各委員  
神奈川 木立  
東京 山内 新川 西垣 各委員及び会長  
中部 宮野 二宮 広田 小出 岩田 各委員  
全国 香取事務局長
4. 審議事項
  - (1) 会報3号 会員名簿の作成について(岩田委員説明)  
結論として会報は、11月13日第2回理事会までに完成  
会員名簿は、広報委員会にて今一度検して作成する。

- (2) 第2回理事会開催地の変更について(香取事務局長説明)

東中国、中国合併記念に岡山地区で開催する予定であったが、準備進まで鳥取、島根、山口も含めた協会にしたいため次回まで延長をとのことで、会長に連絡の上、急拠静岡の高島会長の協力を得、伊豆長岡の伊豆ホテルにて11月13日、14日開催する運びとなった旨の説明

- (3) 機種別 取得年月 破棄年月 稼働率の調査について  
(西垣委員 事務局長 説明)

建設省建設機械課よりの調査要請で昭和49年度税制改正に当り貸貸業の機械の貸貸の耐用年数の短縮について大蔵省 申すための資料調査であるため、至急願いたい。調査地区を早急のため、大阪、中部、神奈川、東京の4地区とした調査締切期日を10月25日事務局必着とした。

- (4) 標準料金表の作成について  
結論として一時すいおきとする。  
各地区の料金表に全国の肩書を登載して利用して行く。
- (5) 定款 細則 旅費 出張費 支部規程(岩田委員説明)  
定款はそのまま  
細則 旅費 出張費 支部規程について検討  
旅費 出張費 支部規程については実施期日については未定(当分予算の関係上又は法人化問題上)とする。  
出張費のうち、地区発会式出席等全国より指示のあった場合、特別支部~社団法人の決定を見るまで保留。支部の屋上屋にならない様運営費は出さない。  
関西、中部、東京は一応現在のまま呼称する。



会長は持ち廻りになっているので、今回は名古屋でとの話しが会長より出たが、中央官庁との法人化問題その他の交渉があり、引き続き東京でとの二宮委員及び宮野中部会長より意見あり、結果、定款通りで行くことで意見一致(理事互選)

(6) その他

A 社団法人推進状況について

会長より好転しているとの説明あり。

B ローラーリースの全国加盟について

新川委員より法人化推進後全国にローラー支部として加盟したい意向であるとの説明あり。

C 機械の展示会等について

全国の事業として軽機械の展示会の開催をし、会の地位、立場を高揚するようにしたいとの会長の説明あり。これは次回理事会に提案することとした。

以上にて委員会を終了した。



## 建設機械リース業とその協会について

企画委員長 理事 山田 敬太郎



我が国の高度経済成長は国民所得水準の向上と消費水準の高度化をもたらしましたが、反面急激な労働力人口の都心流入で、東京を中心とする首

都圏、名古屋を中心とする中部圏、大阪を中心とする近畿圏といったドーナツ現象のあおりを受けて、人口が急増したため、一部地方の過疎地帯発生と新しい都市化による相対的な社会資本の立遅れといったことが目立ってきました。

このような情勢化をふまえた社会福祉充実への建設事業投資は歴大なものとなっていますが、労働力の不足は深刻な様相となっており、このために、建設工事の機械化は各方面に亘り駆使されて、消力化と工期短縮に大きな力となっていることは、御高承の通りであります。

しかしながら、これら機械が高価格であり資金投資と稼働率を感慮し、さらに消却資産等を配慮するとき、中小企業の建設業では大きな負担となっておる、今では大手筋建設業と言えども、現場単位による機械のリース化が浸とうして地元建設業界と共に、その需要は旺盛なものがあると思います。

斯かる現況化にある反面、リース業界と機種種の増加等で、保有機械の稼働率を高める為に業界の過当競争は激化し、好況とはウラハラに厳しい商売をしいられていますことは、皆様方もご承知の通りであります。その問題点を打解する決め手の対策が一番難問題となっているのであります。

私達の取扱っていますものは、危険性のない安全な各機種が好能率をあげて、初期目的を満たすために一台毎に精魂を傾けて整備し喜んで使って載くように努力して提供するので、いずれも血の通った責任ある技術を施し、さらに現場との連絡を窓にしたアフターサービスを実施致している訳であります。一方、有資格者を含めた安全対策や技術講習も常に開催してゆくため、これら管理費の投資は並々ならぬものがあります。

従って保有機械の資本的投資、プラス、整備技術費及び一般管理費を勘定するとき、昨今の異常なまでの諸物価が高騰するのに直面し、私達リース業のみは、価格改訂が出来ず企業を支えて行くことが誠に至難となり、死活問題としての努力も極限に達し、その結果の覚悟が必要となってきましたようであり、これが打解策の迅速化に苦慮しているのであります。



そこで全国組織網を持つ協会に依存する面が台頭する訳であります。幸い、志を同じくして永年この業にたずさわって、豊富な体験で今日の地位を築きあげ、それぞれが繁栄してきましたが、さらに飛躍発展を期するためには全国建設機械リース協会の強固なる団結を図り、地域的な問題はケースバイケースで認められた賃貸価格の安定を図る以外、これからの企業は大忙な日々の死闘にも拘らず、企業倒産に追い込まれること必然であろうと言われています。

この危機を打解するために、私は次のような事が考えられます。

- (1) 建設業界を通じての私達企業の重大責務と役割に鑑み、社会環元への奉仕の道は安心の出来る機種を提供であります。そのため、
- (2) 全国にある単一地区の各協会が基盤の充実を図り、み力ある団体に育成し、未加入者の会員に参加を促進して名実共に全国網を一体化する法人組織化で、対外的の信用を博すよう努力することで、
- (3) 建設機械リース業の地位の向上を図り、将来は監督機関への登録、又は認可制の道を拓き不良業者の追放で山積みする諸問題の好転解決を念願する次第であります。

## 編 集 後 記

第三号会報の発行は9月中旬の予定であったが、主要記事がアメリカレンタル業界の視察旅行をテーマとしたものに制約されていたため、それが整理（寄稿待ち）に手間取ったり、本年度第1回理事会（札幌市）の日程が大きく狂い、8月2日が8月27日に延びられたことなど発行日が二ヶ月もずれた原因となったのであるが、それより一番大事なことは、会報の発行が連合会の事業収入の1つに予算計上されていることである。

会報は、発行費の殆んどを賛助広告料に依存して居るのが実情であって、その賛助広告の掲載契約を結ぶことが、会報発行の第1条件となっている。

この発行財源の確保は当然、広報委員会の責務であるが、会員の皆さんも、われわれの会報であるとの御気持ちで出来るだけの御援助をお願いする次第である。皆さんの御援助により発行回数を増すと共に内容を充実させ、全建り連の会報は建設業界でも鳩首の刊行物となるように致したいと思う。

第四号会報の発行前に来年2月には全建り連の名簿を発行することに決定しているので、財源確保に会員各位の御援助をお願いする次第である。

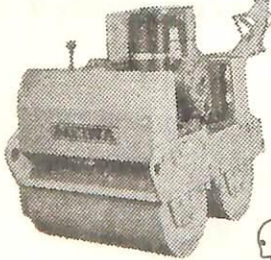
広報委員長 岩 田 正 治

発 行 昭和48年11月10日  
発 行人 全国建設機械リース業連合会  
発 行 所 東京都渋谷区東2丁目17-11  
(〒150) TEL (03) 409-3761(代)  
会 長 山 田 鹿 藏  
編 集 者 広報委員長 岩 田 正 治  
印 刷 東 海 タ イ プ 商 会  
名古屋市昭和区鶴舞3丁目2-16



**ハンド  
ローラ**

上下折曲ハンドル  
MVH-5 (0.5t)



**バイブロ  
プレート**

アスファルト舗装  
整形、補修



**ローラ**

両輪、駆動、振動  
パワーステアリング  
サイド転圧可能

MVR-25 (2.5t)  
MVR-11 (1.1t)



**明和**

**バイブロ  
ランマ**

路盤 砕石 締固め  
管設、盛土、埋戻



(カタログ進呈)

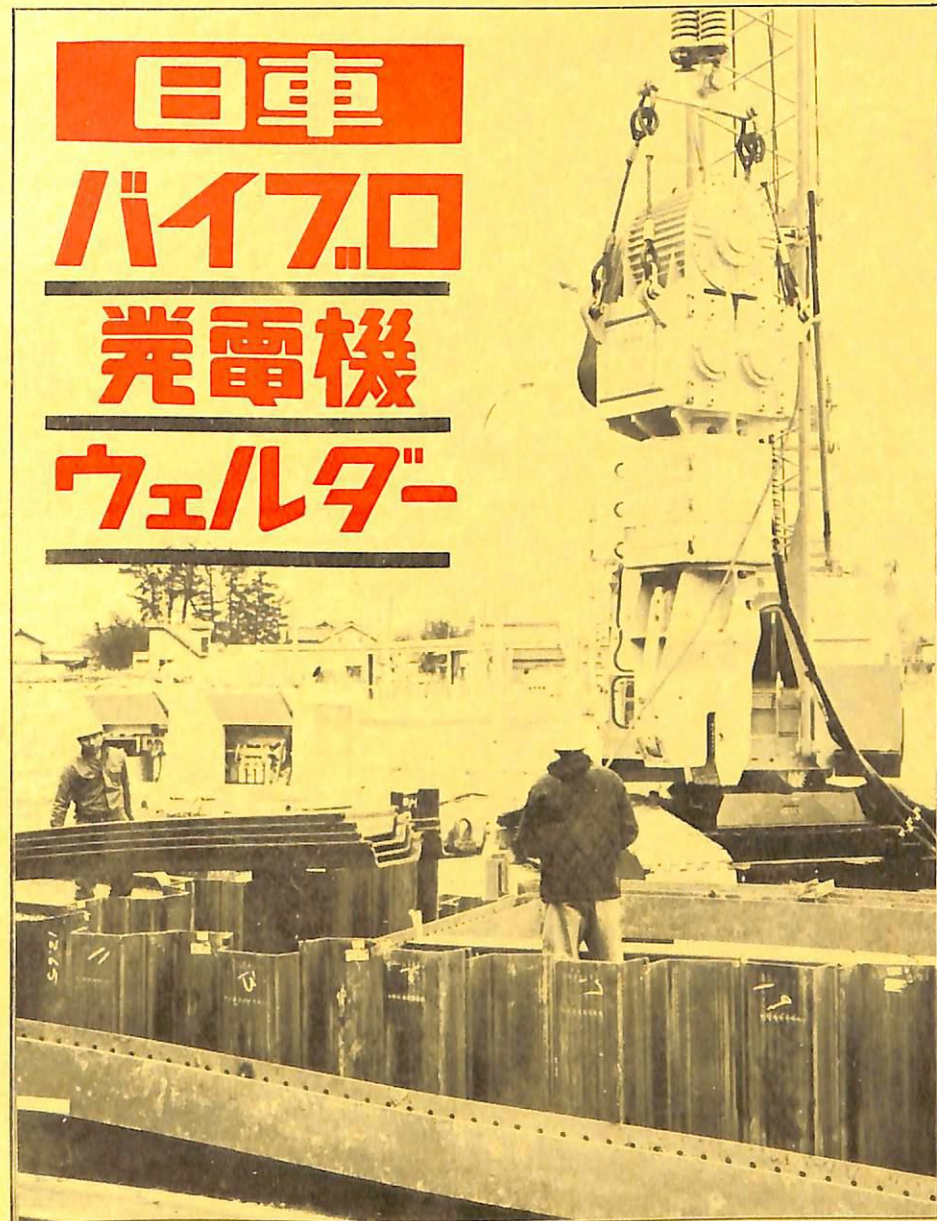
**営業所**

大阪 TEL (06) 961-0747 ~ 8  
福岡 TEL (092) 41-0878・4991  
名古屋 TEL (052) 361-5385 ~ 6  
仙台 TEL (0222) 56-4232・57-1446  
札幌 TEL (011) 822-0064

株式会社

**明和製作所**

本社 川口市青木1丁目18-2  
工場 TEL (0482) 51-4525(代)



**日車  
バイブロ  
発電機  
ウェルター**

製造元 **重日本車輛**

総代理店 **にちゆう 日熊工機**

本社 名古屋市熱田区三本松町1丁目1番地  
TEL <052> 882-3311 〒456

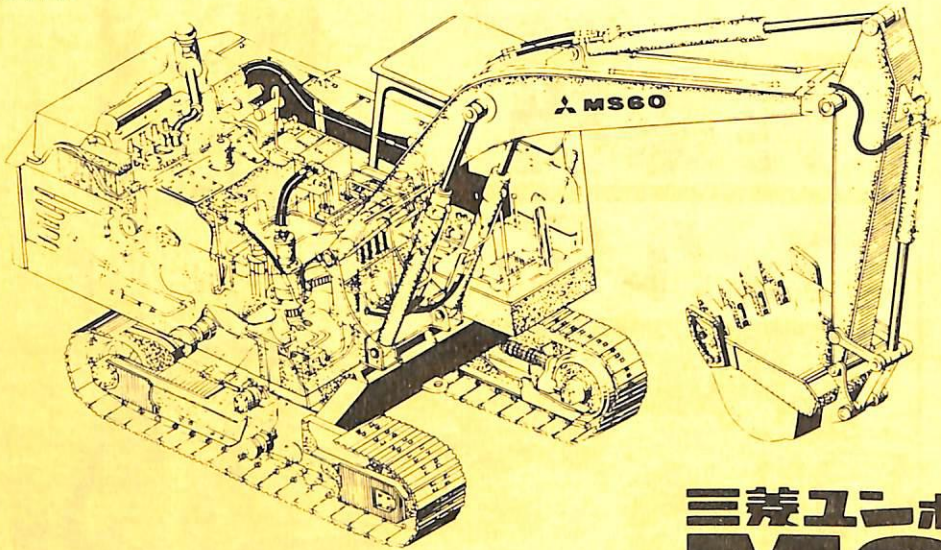
名古屋営業所 名古屋市南区元塩町1-36  
TEL <052> 612-3611 〒457





# 稼ぐタフな機械

中味は精密機械



稼ぎのよいパワーショベル——それは効率のよいショベルのことで。三菱エンボは機械を保有するための費用、機械経費、時間当たり土工量、機械の稼働率など、稼動コストを頭において設計されたショベルです。休むことを知らないタフなショベル、三菱エンボは稼ぐショベルです。

- 操作がしやすい
- 作業がはやい
- 強力なエンジン
- 独自の油圧システム(実用新案申請中)
- 安定のよい強力足まわり
- 広視界キャビン
- 操作が簡単なフィンがコントロール
- 楽にできる保守点検
- オペレータを大切に設計

## 三菱エンボ MS シリーズ

狭い現場で小まわりがきく

### MS20

バケット容量0.12~0.25<sup>m</sup> (標準0.2<sup>m</sup>)  
総重量5.8t サイクルタイム12~15秒

11トン車で楽に輸送

### MS40

バケット容量0.15~0.5<sup>m</sup> (標準0.4<sup>m</sup>)  
総重量10.6t サイクルタイム13~17秒

豪快ノ湿地タイプ

### MS40L

バケット容量0.15~0.5<sup>m</sup> (標準0.4<sup>m</sup>)  
総重量12.2t サイクルタイム13~17秒

とくに操作がしやすく作業が速い

### MS60

バケット容量0.35~0.75<sup>m</sup> (標準0.6<sup>m</sup>)  
総重量15.8t サイクルタイム15~19秒

高効率堀削を鋭く追求

### MS100

バケット容量0.6~1.2<sup>m</sup> (標準1.0<sup>m</sup>)  
総重量25.0t サイクルタイム17~22秒

三菱重工業株式会社 建設機械事業部 パワーショベル課  
東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京03(212)3111

総販売代理店 三菱商事株式会社 建設機械部 第一課  
東京都千代田区丸の内2-6-3 ☎東京03(210)4630-31

販売店

東京産業㈱ ☎東京(03)212-7611

新東亜交易㈱ ☎東京(03)212-8411

㈱米井商店 ☎東京(03)561-1171

ツバコー重機総業㈱ ☎東京(03)433-0181

新菱重機㈱ ☎東京(03)582-3231

榎崎産業㈱ ☎札幌(011)261-3241

四国機器㈱ ☎高松(0878)33-9111

北菱重機㈱ ☎小松(0761)21-3311

みづほ工業㈱ ☎浜松(0534)61-6171

中吉自動車㈱ ☎広島(0822)32-3325

西日本重機㈱ ☎福岡(092)27-2128

新菱新潟重機㈱ ☎新潟(0252)41-0500

重菱建機㈱ ☎姫路(0792)36-4911

牧港自動車㈱ ☎那覇(0988)33-3161